

## 核問題をめぐる動きとその背景

平成7年10月6日

森 一 久

### 1) 核兵器問題の過去、現在、未来

- 核兵器開発の歴史と現状
- 核兵器拡散防止条約 (NPT) の無期限延長
- 包括的核実験禁止条約 (CTBT) 案の意味と問題点—中国、仏の核実験
- 核兵器が存在しつづけるのはなぜか

### 2) 戦争の歴史と核兵器等の出現

- 戦争道德の退廃
- すべてを「戦争のせい」にする風習

### 3) 打開への道をさぐる

- 核兵器、環境、人口の三大デッドロック  
(パグウォッシュ会議、京都フォーラムの会議)
- 人間の脳科学からのヒント
- 宗教の役割

仏教徒懇話会（1995. 10. 6）

核兵器、核実験の歴史と現状（個数、実験回数）。第2次大戦の生んだものは、植民地開放と五大国の核による（東・西などの分割的な）支配だった。そこに加わったのが先鋭かつ決定的な東西対立、これが猛烈な核の開発・製造競争、その揚げ句が冷戦解消（その本当の理由は？）。NPT延長会議の結果、無期限延長で決まった（CTBT促進と評価会議の持ち方で付帯決議はついたが）。CTBTの意味、中仏の実験への抗議・結局二大国支配になるか。―――もともと冷戦中の分割支配にかわるものは、（無道徳下の・・・後述）その背後に、いままで我々が見逃してきた、あるいは不感症になってきた重大なこと――戦争道徳の頽廃あるいは無視――がある。

戦争道徳の頽廃が始まったのは、第1次大戦の後半で、その戦後チャーチルが兵器の極度に進歩した今、次の大戦では人類は全滅すると警告した。第2次大戦になって、日本・ドイツの軍国主義者が大規模にルール無視の行為を（不意打ち攻撃や非戦闘員の無差別かつ大量殺戮など）繰り返すようになり、連合国側もこれをきっかけに、あるいは便乗して、あるいは止むなく、同様の行為を繰り広げた。戦争道徳の頽廃ないし無視は、一気ににエスカレートし、日常茶飯事となっていった。ドレスデン空襲・東京空襲など、意図的に出来るだけ多くの一般大衆を殺戮する大規模攻撃が繰り返され、そのあげくが、ヒロシマ・ナガサキであった。（広島選定の理由・・・）人類は古の戦争関連の慣習や最低限の道徳を忘れ、いつのまにか「戦争が悪いのだ」とか「戦争だから仕方がない」と思い込まされるようになった。さてしかし、戦後の戦争裁判は、この戦争ルール違反（宣戦布告なしの攻撃、捕虜虐待、非戦闘員の大量殺戮など）を基準に裁かれた。それにもかかわらず、意図的かどうか、回復の試みもなく・・・その結果・・・ベトナム、朝鮮、旧東欧、、、も。

いまやテレビの画面にも不感症、核実験反対や果ては食用生物の扱い方に批判運動を繰り広げる、NGOはあっても、大衆殺戮にモノいう組織はなく、国連さえ同様な行為にはしても、「（可哀相だが）戦争だからしかたない」ですまされている。これは大国支配のため戦後行われたマインド・コントロール<sup>FCI</sup>の結果かと思うと、空恐ろしくなる。人類は欠陥生物（昔に比べ、武田しんげん、）にされてしまったのか。

さて、どこから手をつけるか。日本のように戦争手段の放棄により戦争そのものをなくする努力は大切。だが、すべてを「戦争」や紛争のせいにしていては、世界は人間不信の坩堝になりかねない。・・・人間性あるいは道徳観は、個人と集団で違うようだが、全体的にみれば、進化していないわけではない。（たとえば環境・・・イジメのような退化の例も・・・）。（日本では）「人の命は地球より重い」などという言葉が、極限状況に皆が注目すれば、大きな説得力をもつこともある。

本来、道徳とか徳目あるいは宗教というものは、時代状況に応じて社会秩序の維持や人間活動に規範を与え確信をもたせるため、為政者や先覚者のイニシャティブによって、形作られたものが多い。（その基盤に人間の良き本性や良心、悪魔性があるにしても）。最近の脳科学によっても、人間は確信を持つと、脳活動や免疫機能が活性化する、つまり宗教などは、むしろ必要なものということが分かりつつある。（余談ながら、笑いのみならず悲しみもガンなどへの免疫機能を増進するとか）

京都フォーラムでは、核兵器、環境・人口問題にあえぐこの地球を、いかにして次世代に温存していくか、外人を含め科学者、哲学者、宗教家、財界人、ジャーナリストなどが集まって報告等を交わした。一流の人士がそろっただけに、（教養番組としては）充実したものばかりだったが、行動指針のヒントを与えるようなものは、あまり無かった。（科学者は兵器開発に非協力を、経済成長をやめて環境保存を、秘密の核開発を市民監視でとめる、核兵器国と経済断交をとるか、あまり人々の意欲を駆り立てるようなもの無し・・・）

その中で、中村元先生は仏教の歴史の平和性などを懇切に説明したが、「宗教間の対立は疑問・・・」などと議論はとてみ合わなかった。もっと時間をかけて話し合えば、あるいは氏の構想が、明らかになったかもしれないが。

（脳科学――深層にある意識や記憶が呼び出される仕組み、どんな経験が記憶されやすいか、など、）（イジメなどは人間のどんな本性から出来るのか）